

6 次産業化部門

長野県松川町 株式会社なかひら農場

(代表：中平 なかだいら 義則 よしのり 氏)



○ 経営規模：リンゴ 11.0ha、ジュース製造 180 万ℓ

(注) 数字は令和 4 年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 以前はリンゴ生産主体の経営を行っていたが、安定した経営を目指して農産加工や観光農業に着手した。現在では、ジュース製造を主体とした加工部門の売上げが全体の 9 割以上を占める。
- ・ リンゴの生産にあたっては、地元企業と連携して開発した活力剤やジュース加工過程で出る残渣を活用した肥料を利用することで、減農薬栽培を行っている。
- ・ 他社との製品の差別化を図るため、イタリアの機械メーカーとの機械の共同開発やブランドイメージの形成を行うなど、製造から販売に至るまで、様々な顧客ニーズにこたえられるようジュースやスムージー、ジャムなど 40 種類以上の加工品を製造している。地域の農家と共に 6 次産業化を発展させたいという理念のもと、これらの加工品の原料には地元産の果実や野菜などを積極的に用いるほか、加工工場では地元住民を中心に 40 人を超える雇用を創出した。
- ・ また、果樹農業を維持するとともに担い手を育成する目的で「南信州りんご大学院」を独自に創設し、栽培技術から経営知識まで指導、独立就農をサポートするなど地域振興にも貢献した。